

## 自然広場から： 近隣の自然の変化に目を向ける No.32

「見る 菊(きく) 楽しむ Watch Chrysanthemum Enjoy」

2020年11月19日

毎年11月になると、菊花の愛好家が長い間丹精込めて育てた大菊をコミュニティーセンターや自分の家の前に並べる。寒さが増す時期だが、見事な大菊の鉢が何列にも並べられているのを見ると、その豪華さに目を見張らされ、寒さを忘れる。

今年はどうか？近くの粕谷区民センターの庭に徳富蘆花夫妻の菊人形と共に配置される菊囲いの小屋がない。コロナ禍のせいだ。しかし、建物の前にいくつか大菊、中菊が展示されていた。

[参照] 2017年の菊祭り／粕谷区民センターの写真アルバム

<http://sengawacx.com/Chrysanthemum2017.pdf>

近隣を歩いていると様々な菊が目に入ってくる。名前を調べようとネット検索をしたが、なぜか菊には固有名がないことが分かった。大菊、中菊、小菊、野生菊と分類され、そこに花の色や形状を付記している。また、西洋菊、古典(江戸)菊と由来で分類している。あまりにも多様で、新たな改良種が次々につくり出されるためか？

そんなワケで、アルバムには花の名をつけていない。ただ、野菊の花は小説にも使われている名なので書き添えてある。